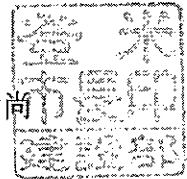


20 登土第 602 号

平成 20 年 10 月 23 日

国土交通省道路局長殿

宮城県 登米市長 布施孝尚



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成 20 年 9 月 19 日国道企第 37 号で依頼のありました標記について、別紙のとおり回答します。

建設部 土木管理課

担 当：佐々木・首藤

TEL0220-34-2365

E-mail : dobokukanri@city.tome.miyagi.jp

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

宮城県登米市

道路の建設・維持管理を行うための財源は、国費・地方費財政投融资資金等でまかなわれておりますが、登米地方の道路整備はおくれており、まだまだ整備が必要とされている実情にあります。

高速道路や公共交通機関の未発達な当地方では、道路は生命線であり必要不可欠な基盤であります。本市としても、地域の均衡ある発展を目指し、市内各地域及び周辺都市との連携強化のための道路整備や、交通渋滞の緩和、交通事故の減少などの安全に利用できる道路環境の確保に取り組んでおります。

今後、高い確率で発生すると予測されています宮城県沖地震による被災時における救援、支援、復興の対応に向けた緊急輸送道路の整備が急務となっております。

また、中央においては、道路交通網の整備は十分であるとする論評が一部でなされており、政府においても、財政再建の名の下に採算性を重視した考えにより、地方における道路整備は不要とし、道路整備予算を削減することは、到底容認できないものであり、国土の均衡ある発展と住民の生活環境の向上や産業振興を図るため、積極的な整備が必要とあると考えております。

今後の行政についての意見・提案

②—1 地域の現状と抱える課題

様式②

宮城県登米市

○現状

本市は、国道45号、342号、346号、398号及び国道456号を中心として、主要地方道7路線及び一般県道15路線を骨格に形成されております。

市道は4,916路線、総延長2,677kmで、内改良済延長が1,394kmで52.1%の改良率となっておりますが、住民生活に密着した道路整備が今後半分程度残っているほか、歩道等設置延長については144kmの整備に留まっており、少子高齢化に向けた安心・安全な歩道整備が必要となっております。

○課題

地域経済の活性化と市民の安心・安全を守ることから三陸縦貫自動車道と東北縦貫自動車道へのアクセス道路の早期完成。

本市内の国道は45号を除くと県管理の補助国道であり、狭隘の改良と自歩道の整備が急務となっております。また、県道も改良率は89%となっているものの自歩道の設置は49%に留まっており早急な整備が望まれます。

また、市道についても改良率が52.1%と低く、維持管理に多くの費用が必要なうえ、近い将来発生が予想される宮城県沖地震対策として、橋梁の耐震補強工事を年次計画で実施しなければなりません。

今後の道路行政についての意見・提案

様式③

②—2 地域の目指すべき将来像

宮城県登米市

活動的なまちづくりの推進と商工業や観光等本市経済の発展に向けて、市内地域間を結ぶ都市内道路、本市と他都市・圏域を結ぶ都市間道路、高速道路・新幹線・ＪＲ在来線へのアクセス道路等本市の骨格となる幹線道並びに市民生活に身近な生活関連道路の整備を進め、市民が移動しやすく、市外の人々が流入しやすい道路網の形成を図ります。

主な施策

- ① 高規格幹線道路の整備
- ② 市域の骨格を結成する幹線道路の整備
- ③ 高速道路、新幹線、ＪＲ在来線へのアクセス道の整備
- ④ 生活関連道路の整備

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

宮城県登米市

○重点事項 ・地域活力の向上 ・大規模な地震、火災に強い国土づくり ・少子・高齢化に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成 ・良好な生活空間・自然環境の形成	○代表事例 ・三陸縦貫自動車道の整備 ・東北縦貫自動車道築館 I C と本市を結ぶ宮城県北高速幹線道路の整備 ・国道 4 5 号、3 4 2 号、3 4 6 号、3 9 8 号、4 5 6 号と主要地方道の整備 ・三陸縦貫自動車道の整備 ・東北縦貫自動車道長者原 S I C と本市を結ぶ登米圏域・古川間連絡幹線道路の整備 ・市道の整備	○期待する効果や評価等 ・優良企業の誘致により、若者の就労確保にされ定住化の促進が図られる。 ・消費地と生産地の流通時間が短縮され流通コストが下げられる。 ・観光客の志向に応じた観光ルートの確立が可能となる。 ・近い将来高い確率で発生が予想される宮城県沖地震や集中豪雨の災害により、幹線道路に万が一の被害が発生した場合、緊急輸送路となる。 ・緊急時において速やかに適切な処置が受けられるよう、高度医療施設への早急に搬送できる高規格道路の整備により、市民の「安心・安全」を守ることができる。 ・市内の均衡ある発展を目標に市道整備を実施する。
--	--	---